

今年も夏越大祓・茅の輪くぐり

6 月 3 0 日 水度神社・荒見神社にて

水度神社の夏越大祓

夏越大祓は「平素しらず知らずにおかした諸々の罪 穢を人形に移して祓い清める古くからの神事」で、京都でも多くの神社で行われています。城陽ではかなり以前から荒見神社が、2023年・令和5年からは水度神社でも行われるようになりました。

2時過ぎに水度神社へ行くと、受付のテントのところにられる氏子総代の方から「今年も厄落としの団扇です」と言って丸い団扇を頂きました。この団扇は「厄落とし丸うちわ」と言われていて、大きく「祓」と書かれているその下に小さく「厄」と書かれた部分が丸く抜けるようにミシン目が入っているという団扇、水度神社では2年目にあたる24年から「厄落とし丸うちわ」



を無料で授与しています。団扇のもう片面には「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命延といふなり 水度神社」(11世紀につくられた拾遺和歌集収録 よみ人知らず)と書かれていて、「厄」のところを指で打ち抜けば「厄が落ちる」と言う判じ物団扇になっています。

3時から水田宮司の奥さんの司会で夏越大祓が進行、水田清比古宮司が「祓い給え清め給え…」と祝詞をあげ、参列していた氏子総代さんや社務所前に参集されている人たちに「災を退け、福を招く」とされる鈴振りの儀などがおこなわれ、3時半頃に水田宮司から「お忙しい中をご参集いただきありがとうございます。水度神社の夏越

茅の輪くぐり 水度神社

の大祓いは今年で4年目になります。美しい茅の輪はカヤで出来ています。カヤはあらゆるものを新しくすると言われていています。厳しい夏がやってきます、元気でお過ごしください。」とあいさつがありました。その後、水田宮司らを先頭に茅の輪をくぐり、ついで氏子総代さんたち、そのあとは一般の参加者が続きました。社務所前や絵馬堂、坂道まで多くの方が夏越の神事に来られ、

今年も夏越大祓・茅の輪くぐり 6月30日水度神社・荒見神社にて/夏越の大祓～その前後・水度神社～/訂正とお詫び/6月の総会小西氏の記念講演 京都と洛タイに紹介記事/府植物園のお宝展1億円の古本歴彩館7/3/寺田李きれいに色付く山科植物資料館7月9日/貴陽/当帰のにつ帰 /老若男女夢を語ろう会で「寺田駅が出来た頃のあれこれ」のお話6月23日福祉センター/会の活動・短信/「はじめての石器、はじまりの石器一京都盆地の旧石器一 / 第97回文化財講演会/次回例会8月21日/ 他